

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金事業 事業評価シート

NO	事業区分	事業名	事業分類	事業概要	事業期間	総事業費	交付金充当額	事業実績	効果検証	担当課
1	デジタル実装タイプ	公開型地理情報システム導入事業	TYPE1	本事業では、公開型GISクラウドサービスを実装し、インフラやハザードマップ、都市計画等の情報を公開することで、市民・事業者が時間や場所にとらわれず情報を取得できるようになり、住民生活の向上だけでなく、災害時の命を守る行動にも繋げる。	R6.6 ~ R7.3	9,955,000	4,977,000	【公開型GISへのアクセス数】 1,664件（2024.11.1～2025.3.31） 【マップ、レイヤー数】 24マップ、114レイヤー	「行かない市役所」の推進を図り、住民サービスの向上と職員の住民対応時間の削減につなげることを目的に、令和6年11月1日から「御前崎市オンライン地図情報サービス『うみかぜマップ』」を導入した。これにより市民は24種類のマップ、114のレイヤーをいつでもどこからでも閲覧できるようになった。 また「うみかぜマップ」に加えて「市民投稿システム」の機能も搭載した。この機能は、市民が発見した、市内道路の舗装やカーブミラーの破損個所などを投稿できるようにしたものである。職員のパトロールだけでは対応が遅くなってしまうことがある中、市民の皆さんにも協力していただくことで危険個所への早期対応、安心安全の確保につながることを期待される。	デジタル推進課
2	デジタル実装タイプ	公共施設予約システム導入事業	TYPE1	本事業では、施設のオンライン予約、マイナンバーカード連携、キャッシュレス決済、スマートロック機能搭載の公共施設予約システムを構築することで、市民の利便性向上を図る。	R6.11 ~ R7.3	5,390,000	2,695,000	【システムのアクセス数】2,133件（令和7年3月31日時点） 【システムの導入施設数】23施設	3月25日から運用を開始し、「広報おまえざきへの掲載による住民周知」、「LINE等による住民周知」、「公共施設予約システムに関する説明イベント」を実施した。スマートフォンを使用する年代だけでなく、高齢者やスマートフォンの使い方が分からない人にも広く周知したことにより、2,133件のシステムへのアクセスが確認できた。 また23施設に公共施設予約システムを導入したことによって、住民が時間や場所に囚われず、施設予約ができるようになった。	デジタル推進課

15,345,000 7,672,000